

【 白井城と5砦巡り 】

令和4年度（2022年度） 第1回例会

[ダイジェスト版]

佐倉路地裏探検隊 探訪記

【 探訪マップ 】

国土地理院 監修



- 掛番1：紺屋ヨシダの工場跡と織機齒車
- 掛番2：宗徳寺の権現池周辺等-1
- 掛番3：宗徳寺の権現池周辺等-2

- 24 印旛沼・白井宿遠景1
- 25 北向き道祖神
- 26 白井駅

【 探訪地点 】

- 1 白井駅
- 2 稻荷台砦跡1(稻荷台公園)
- 3 坂(仮称 宿内城跡切通し坂)
- 4 宿内城址2
- 5 南向道祖神社
- 6 稻荷神社(雷電公園)
- 7 坂(仮称 野口坂)
- 8 本八幡神社
- 9 田久里砦跡
- 10 地藏尊と庚申塔
- 11 手繰坂 (別名 弥右衛門坂)
- 12 道標
- 13 道標
- 14 実蔵院1
- 15 名関脇稲川政右衛門の墓
- 16 仲台砦跡
- 17 八幡神社(はちまんじんじゃ)1
- 18 山王社跡と廃寺松雲寺
- 19 洲崎砦跡
- 20 円應寺(白井の苔寺)1
- 21 円應寺(白井の苔寺)3
- 22 玄海和尚&白井秀胤(号信齋)の墓
- 23 白井城2

【臼井城と5砦巡り】 [ダイジェスト版]

令和4年度 第1回例会 佐倉路地裏探検隊 探訪記

1

1

臼井駅



大正15年(1926)12月「臼井」の駅名で、現在の驛より約580m北東に存在しました。丁度296号線の踏切がある場所を改札口とし、ホームはその先になります。昭和6年(1931)に駅名が「京成臼井」に改称。昭和53年(1978)現在地に移転しました。王子台、更には染井野等の住宅地整備計画に基づき駅舎等が現在地に移転しました



2

4

稲荷台砦跡1(稲荷台公園)



公園内の土地整備計画完成の碑文の中に簡単に中世の臼井城の一つである稲荷台砦の事を記しています



3

6

坂(仮称 シクワヂョウセキリダオ 宿内城跡切通し坂)



宿内公園(砦跡)に上る道は複数あります。その一つで、何か趣きを感じられ歴史に触れる道です。臼井駅北口を直進し、一番最初の幹道を右折・直進し、2~300m程行くと左折し直進すると台地下から上部への細い道があります。曲輪下を通り台地上の宿内公園の入口に出ます。何故か歴史を感じる道です。謙信が攻めて来た時、稲荷砦と大型砦のこの砦は真っ先に戦時に入りました。そんな折砦内に籠った兵士への食料補給道ではなかったのでしょうか?



4

8

宿内城址2



曲輪付近から



5

15

南向道祖神社



社が南を向いているので南向きの道祖神が祀られています。手前右には廃寺の光明寺(真言宗。実蔵院末寺)にあったと思われる1665年造の釈迦如来と右側は変な顔の1672年造の観音菩薩像です



6

17

稲荷神社(雷電公園)



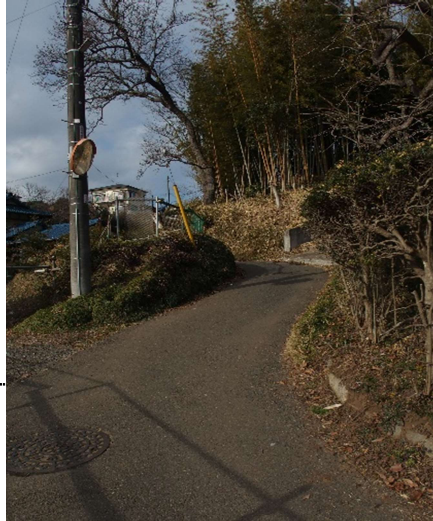
雷電が寄贈した階段を上ると三連の社があり、真中は稲荷神社、左側は三峯&古峯神社、右側は子安神社です。社の右側には大きなエノキの大木があり、その周りにも石社の稲荷神社が並んでいます。この社の後ろ側は明治時代初期は公園として整備され印旛沼展望台がありました。国鉄総武線が開通し臼井近辺の客寄せとして毎月2回相撲大会が実施されました。戦後は競輪場が作られ競輪が行われていました。この公園自身も多くの歴史がありました。是非とも印旛沼展望台として再開して欲しいものです



7

21

坂(仮称 ^{ノグテザカ}野口坂)



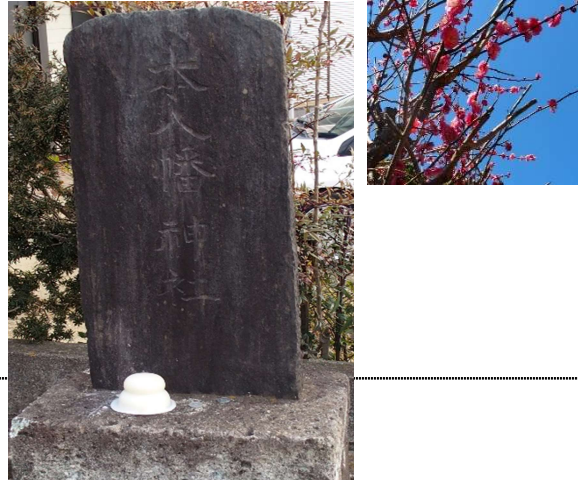
スーパータイヨーの手前横から右折して行くと南臼井台の台地上に繋がる坂になります。小字より野口坂としました。意外と急な坂で、葉180m、8度程です。この坂からの眺めは良いものです



8

23

本八幡神社



現在の八幡神社が完成するまでの間、ご神体を仮安置した場所です。八幡神社の地面と同じ高さという事でこの場所が選ばれました。八幡社の春の例祭には、下志津、上座、畦田等の八幡神社講中が臼井駅から染井野に通ずる楠道を通り、こも本八幡神社をお参りしてから八幡神社に向かうのが習わしだったそうです(八幡神社講)



9

26

田久里砦跡



永久2年(1114)臼井常康が築いたと謂われる物で110mX70mの単郭構造。手繰砦ともいわれます。現在は長谷津児童公園になっています。かつては舌状態の台地だったのでしょ



10

28

地蔵尊と庚申塔



丁度手繰坂(弥右衛門坂)を上って右上に地蔵堂がありました(天正5年=1577=臼井郷図に記載)その境内には正徳5年=1715造立の青面金剛と首のない地蔵尊像が祀られています。少し奥に赤い社の浅間神社があります(中の浅間さま、子育ての神様といわれています)恐らく地蔵尊の頭部が本体の上に置かれていたんかもしれませんが、それが行方不明に。天正5年頃は、この地蔵堂は十字路で、右は地蔵坂經由田久里砦へ、左は浅間山頂の赤い社の浅間社(中の浅間さま)に通じる道があったようです

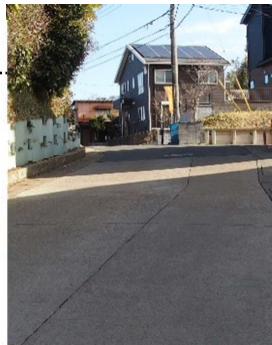


11

29

タグリサカ
 手繰坂 (別名 ヤエモン 弥右衛門坂)


手繰橋から旧成田街道に入ると直ぐに急な上り坂があります。この坂は舗装がされていなければ粘土質の坂で、上り下りが大変だったと思われます。成田街道で言えば、この坂と新坂、市役所手前の海隣寺坂(別名おっぺし坂)、江戸坂(別名八丁坂。臼井の刑場手前の坂)、仮称・上座坂(手繰橋から上座に抜ける坂)が五大急坂です。約80m、12度程



12

31

道標



ゴミ箱の横にこの石が道標である事気付く人も少ない事でしょう。この道を右折し下ると雷電の碑で有名な妙覚寺(別名 薬師様)への道標です。半分欠損していますが「房総の道標」より纏めると次のように刻字されているようです。

正面 (薬)師仏 北 是先凡三丁
 右面 ○○(郎右エ門)
 左面 (明治八)年四月吉日



13

33

道標



大名宿の有名な道標です。
 正面には 右 成田ミち
 右面には 左 江戸みち
 左面には 西 さくば道
 背面には 文化3丙寅年正月28日
 新吉原仲之田」宿太田屋
 伊勢屋半重良

注目点は道の表示方法、町を2分割し田と」にしたこと。注文者か若しくは石工の知識・お遊びはお見事です



14

34

実蔵院1



正式には大澤山実蔵院建徳寺です。真言宗豊山派で本尊は不動明王です。江戸時代の火災で資料焼失し、開基開山は不明です。創建は建徳年間(1370~1372)と寺号より推測。天保年間(1830~1844)八幡神社の敷地右側にあった廃寺満蔵寺が務めていた神社の別当も引継いでいます。寺宝として木像阿弥陀如来坐像、絹本着色釈迦涅槃図(共に市文化財)があります。本堂裏側の敷地には明治36年~昭和17年迄住職の山口永隆が開いた明倫中学校がありました。県内遠方出身者も入学し、地域の青少年教育や農村振興に寄与しました。数年前迄同校卒業生が現役で活躍されていました



15







37

名関脇稲川政右衛門の墓



かつては、南向道祖神前の墓地内にありましたが現在は実蔵院の下先の左側にうつされました。名関脇(当時は大関が最高位)稲川政右衛門の墓石があります。鷺尾家と合葬です



16 40	17 42	18 45
仲台砦跡	八幡神社(はちまんじんじゃ)1	山王社跡と ^{ショウウンジ} 廃寺松雲寺
		
<p>臼井城の5砦の一つです。現在は住宅地整備で付明確ですが舌縁状の高台先端にありました。家臣の邸宅とか、臼井久胤が居城にしたとも伝えられています。140X100m程の大型単郭構造です。田久里砦や仲台砦も住宅地整備の際に土砂が取り除かれ、住宅地や公園にされその存在も不明に。洲崎砦は現在は畑地。いつか住宅整備されたら、史跡がきえさります。最低看板でその場所と簡単な説明、構造図等明記した欲しいものです</p>	<p>見慣れた本殿ですが、横から見ると少し威厳を感じます。祭神は誉田別命(ほんだわけのみこと)です。臼井興胤が暦應元年(1338)に印旛、葛飾2郡114ヶ村の総鎮守として創建したと伝えられています。興胤が宇佐八幡に戦勝を祈願し、足利尊氏に仕えていた折筑前国多々良浜の戦いで菊地武時との戦に功を得て尊氏から臼井の本領を得た城主に復帰しました。その事もあり、宇佐八幡宮を臼井に勧請しました。因みに拝殿横の大楠は山王社の大楠とは別木です</p>	<p>①現在の八幡神社の境内にある大楠の枯木は、いわゆる山王神社の楠ではありません。成田街道を往来する旅人が見た大楠はこの山王神社にあった楠ですが、現在はその跡形ありません</p> <p>②松雲寺の由緒は不明で、明治以前に廃寺。山号は洲崎山と言ひ臨済宗妙心寺派の寺院です。現在は畑に一角に墓地がありますが、これも松雲寺のものとおもわれます</p>
 <p>土地が少し舌状になっているのが分かります</p>		

19

46

洲崎砦跡



臼井城の5砦の一つ。印旛沼と対峙し印旛沼の北側の岩戸、師戸城を抑えながら印旛沼の交通・物流動向等監視していました。150mX100mの単郭構造で土塁の一部が残っています。砦東側は昭和48年いぜんにやはり住宅整備で土砂採取され消滅。廃寺の松雲寺はこの砦跡にありました。現在畑の中の墓地がその名残りでしょう



20

49

円應寺(臼井の苔寺)1



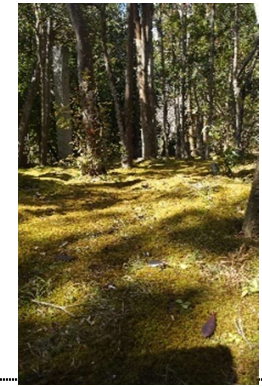
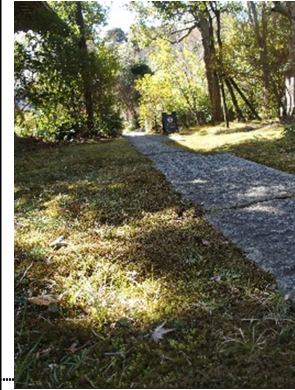
臼井の苔寺と謂われています。秩父巡拝塔、子安観音像には多くに短歌が刻まれています。大師堂、鐘撞堂に続き十王堂(閻魔堂)が並んでいます。足元にも苔が生えています。瑞湖山円応寺で、臨済宗妙心寺派(元は臨済宗建長寺派。天野自身は臨済宗大徳寺派信徒。どこが違うのかよく分かりません)本尊は釈迦尼仏。暦應3年(1338)元竹若丸が成長し、建長寺で修行し、その後臼井氏中高の祖と謂われる臼井興種(おきたね)が創建、開山は鎌倉建長寺の仏真禅師。臼井氏の菩提寺です。宗徳寺は原氏の菩提寺



21

51

円應寺(臼井の苔寺)3



22

52

玄海和尚&白井秀胤(号信齋)の墓



玄海和尚の墓石

本寺24代住職の玄海和尚の墓石も並んでいます。この玄海和尚は白井秀胤(号 信齋)と共に白井八景を作りました。元禄11年(1698)北宋の瀟相八景(しょうしょう八景。湖南省長沙市付近)にならい、印旛沼の美しい景色の中から八景を景勝地としました。舟戸夜雨 遠部落雁 飯野暮雪 師戸帰帆 瀬戸秋月 城嶺夕照 光勝晩鐘 洲崎晴嵐の八景です。信齋の墓も本堂裏にあります。白井興胤の五輪塔お墓も並んでいます



23

54

白井城2

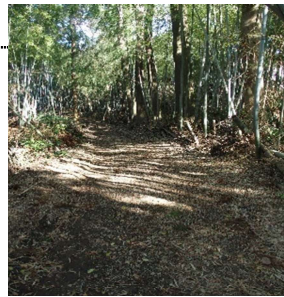


★永禄4年(1561)安房里見氏の一族大多喜城主正木大膳に攻められ落城、永禄7年千葉氏家老職原胤貞により奪還される

★永禄9年(1566)に上杉謙信は里見義堯、義弘等の要請で白井城を攻めたが、攻め切れず越後に戻る

★天正18年(1590)井豊臣秀吉の小田原攻めで後北条滅亡に伴い原氏も滅亡し、天正19年(1591)酒井家次が3万石で白井城に入る。文禄2年(1593)出火・焼失(再建せず)

★慶長9年(1604)酒井家次の上野国(高崎)転封により白井城廃城



24

55

印旛沼・白井宿遠景1



25

60

北向き道祖神



南向き道祖神に対し北向き道祖神しんです



26

61

白井駅 北口



いつまで長嶋茂雄さんなのでしょうか？上杉謙信に勝った白井城、白井宿、印旛沼等キャッチコピーは一杯あります



掛番1	掛番2	掛番3
紺屋ヨシダの工場跡と織機歯車	宗徳寺の権現池周辺等-1	宗徳寺の権現池周辺等-2
   	   <p data-bbox="949 1401 1281 1430">白井城土塁の上の祠(現在撤去)</p>	 <p data-bbox="1585 660 1854 721">権現水と五撰家の説明碑 五撰家の一つのお墓</p>    <p data-bbox="1585 1407 1854 1430">火災を知らせた八咫鳥供奉塔</p>